

# News Letter

山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

■ 第33号 ■

2010年11月2日

## CONTENTS

- 第22回国立大学法人共同研究センター長等会議 開催 ..... 1
- 第7回ひろしまビジネスマッチングフェア2010に出展 ..... 2
- 「イチ押しビジネス交流会」で研究テーマを紹介 ..... 2
- イノベーションJAPAN2010に出展 ..... 3
- Bio Japan 2010に出展 ..... 3
- 特許情報検索講習会を開催 ..... 4
- 平成22年度 財団法人山口大学教育研究後援財団  
産学連携促進助成事業 コーディネート型研究会公募のご案内 .. 4
- 山口大学客員教授特別講演会・先端技術セミナーのご案内 ..... 5
- やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議講演会のご案内 ... 6

発行 産学公連携・イノベーション推進機構  
 連絡先 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1  
 電話 0836-85-9961 F A X 0836-85-9962  
 e-mail yuic@yamaguchi-u.ac.jp  
 URL http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/

### 第22回国立大学法人共同研究センター長等会議 開催

第22回国立大学法人共同研究センター長等会議が、10月14日・15日の両日、山口大学を当番校として宇部市内のホテルで開催され、全国60国立大学法人から共同研究センター長及び担当教職員179名が出席いたしました。

山口大学 丸本卓哉学長の開催挨拶に続き、文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課池田貴城課長から、「産学官連携の現状と今後の展望」と題して基調講演が行われました。

全体協議では、山口大学 三池機構長を議長として進め、次期当番大学を満場の拍手の中、静岡大学と決定、分科会では2つの会場に分かれ、「イノベーション力の強化について」、「法人化から6年を経過しての産学官連携の在り方」について、各大学からの発表の後、活発な意見交換が行われました。

2日目は、地元企業の株式会社ヤナギヤ 代表取締役社長 柳屋芳雄氏から「小さな街から世界へ“技術”発信」、芝浦工業大学学長、三菱重工業株式会社特別顧問 柘植綾夫氏から「21世紀日本新生に向けたイノベーション創出能力の強化策」について特別講演が行われました。また、分科会からは「イノベーション力の強力な推進」のため、各大学が何を行っていくべきかについて、まとめの報告が行われました。最後に、次期当番校の静岡大学 木村センター長から、静岡県や浜松市の紹介を踏まえた挨拶が行われ、「来年、浜松でお会いしましょう！」というメッセージで、会議の幕を閉じました。



丸本学長 挨拶



文部科学省 池田課長 基調講演



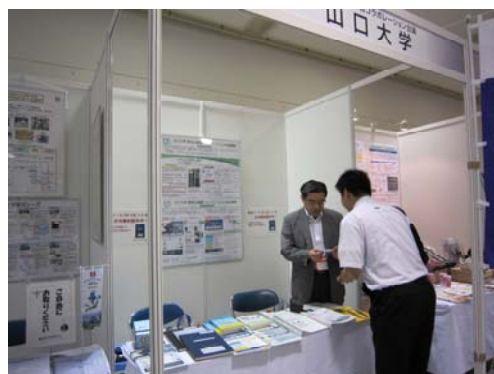
芝浦工業大学 柘植学長 特別講演



分科会まとめ報告

## 第7回ひろしまビジネスマッチングフェア2010に出展

山口大学は、9月16日（木）に広島県立広島産業会館（広島市南区）で開催された「ひろしまビジネスマッチングフェア2010」に、中国地域産学官コラボレーション会議のメンバーとして参加し、産学連携によって開発した「リサーチラボノート」を紹介いたしました。中国地域産学官コラボレーション会議は、中国地域における産学官連携の方針となる「中国地域発展のための産学官連携マスタープラン」及び「中国地域産学官連携アクションプラン」の確実な実施を図るため、協働事業の企画・推進等を行うことを目的として結成された組織体で、中国地域の産学官連携に関係する76機関で構成されています。



出展ブースの様子

出展ブースでは、山口大学において独自に構築した特許庁と同じ規模の特許検索システム（YUPASS）の紹介、山口大学とコクヨが共同開発した「リサーチラボノート」の紹介と40人の来場者に無料配布し好評を得ました。また、地元企業の方からは、本学の研究シーズを知りたいとの相談もあり、後日研究者要覧を送付いたしました。山口大学出身の方も多く来場され、情報収集いただきました。

## 「イチ押しビジネス交流会」で研究テーマを紹介

山口大学は、9月17日（金）にキャンパス・イノベーションセンター東京（東京都港区芝浦）で開催の「中国地域 国立大学法人5大学 イチ押しビジネス交流会」に参加し、医学系の研究テーマを紹介いたしました。本ビジネス交流会は、中国地域の国立5大学が連携して、それぞれの大学が有するシーズを首都圏の企業に紹介し、共同研究や製品開発につなげていくことを目的に、今回初めて開催されたものです。



説明を行う中村美紀子学術研究員

最初に本事業を主催する鳥取大学から、主催者挨拶、事業目的等の説明があり、引き続き、参加5大学の特色ある研究シーズ5テーマについて紹介いたしました。本学からは、産学公連携・イノベーション推進機構 中村美紀子学術研究員から「高効率遺伝子導入を可能にする遺伝子導入エンハンサー」についての技術説明を行いました。

会場には、企業関係者をはじめ60名以上の参加があり、研究テーマを熱心に聴講いただきました。また、技術説明のあとは、研究内容に関心を持っていた企業参加者と個別に相談も行いました。この交流会での関係を具体的な成果につなげるため、しっかりフォロー、サポートしていきたいと考えております。



会場の様子

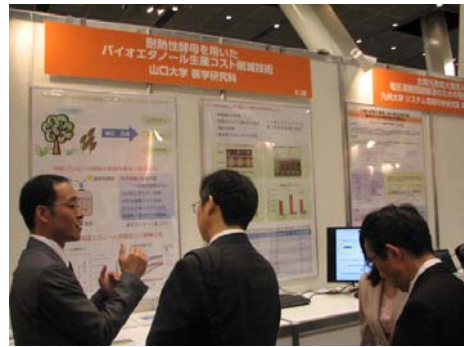


## イノベーションJAPAN2010に出展

「イノベーション・ジャパン2010-大学見本市」は、9月29日(水)から10月1日(金)までの3日間、東京有楽町の東京国際フォーラムで開催されました。このイベントは我が国最大の産業界と大学をつなぐプラットフォームの一環で、7回目を迎える今年は、全国の大学・高専から700件以上の研究成果・シーズについての展示・発表がありました。山口大学からは、バイオ・材料・IT分野から計4件の研究シーズを展示・発表しました。昨今の経済情勢のせいか、来場者は、昨年までの4万人に比べ今年は約1万7千人と、半減しましたが、それでも山大ブースは例年以上の訪問者で、用意した配布用の資料が途中で“品切れ”となり、途中で東京リエゾンオフィスの方に追加を御願ひするなど、思わぬハプニングも発生しました。

展示にあたっては産学公連携・イノベーション推進機構のスタッフのみならず、実際に研究活動を行っている教員・学生の方々にも参加して頂き、企業の方に直接、説明・質疑応答して頂くように御願ひしております。従って、産学連携のみならず、研究の今後の方向性を御検討して頂く上でも有効であったのではないかと考えております。さらに、イベント終了後、企業様より研究者との再面談の依頼も受け付けた案件もあります。

また、期間中、丸本学長、三池副学長はじめ、大学幹部の皆様方にも御来場・御視察いただきました。御忙しい中ありがとうございました。御協力頂きました教員、学生諸氏はじめ関係機関の方々にもこの場を借りて御礼申し上げます。



出展ブースの様子



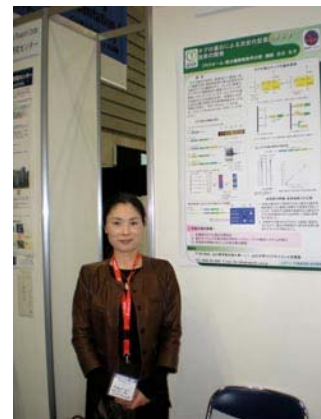
丸本学長（右）視察の様子

## Bio Japan 2010に出展

山口大学は、9月29日(水)から10月1日(金)までの3日間、パシフィコ横浜（横浜市西区）で開催された「Bio Japan 2010」に参加し、医学系の研究シーズを出展いたしました。Bio Japanは国内最大規模のライフサイエンス系展示会で、近年は企業等によるブース出展に加え、大学など公的研究機関からのシーズ情報発信の場である「TLO・大学知財専用ポスターブース」が設けられるなど、ライフサイエンス分野におけるマッチングの場としての重要性を増してきています。

本学からは、医学系研究科 プロテオーム・蛋白機能制御学分野 古元礼子講師による「タグ付蛋白を利用した次世代型蛋白チップ技術」についての技術説明を行いました。

3日間の会期を通じて、会場には10,000人以上の来訪者があり、本学ポスターブースにもたくさんの企業・研究機関の方にご来訪を頂きました。企業様から頂いた質問事項などを研究グループにフィードバックし、今後の連携体制確立に向けた支援を行っていきたいと考えております。



ポスターと発表者の古元礼子講師



会場の様子

## 特許情報検索講習会を開催

産学公連携・イノベーション推進機構 知的財産部門の主催で、「特許情報検索講習会」を、山口地区（5月27日、6月3、10日）及び宇部地区（第1回；6月16、30日、7月7日、第2回；8月31日、9月3、7日）で開催した。宇部興産(株)知的財産部の岡本和彦氏を講師に招き、特許基礎知識、特許情報検索についての講義と、山口大学特許検索システム（YUPASS）や特許電子図書館（IPDL）の検索ツールを使って特許情報検索実務講習を行い、延べ116名の教職員、学生が参加した。アンケート結果では、本講習会は、初心者にとって分かりやすい内容で非常に有意義な講習会であったと好評であった。

また、本講習会は、「特許情報検索インストラクター養成」のための講座も兼ねたものであり、実技試験の結果、50名が特許情報検索インストラクターに認定された。

インストラクター制度の効果は、①学生インストラクターが特許出願のための先行技術調査（特許情報検索）等を行うことによる多忙な大学教員への支援、②知財啓発や知財教育による若手人材・学生の育成、③知財を重視する産業界への知財人材の輩出と、学生の企業への就職活動支援、④出願時の弁理士費用低廉化による経費の節減にもつながるなど、期待以上の効果を奏している。

教職員の皆様方や学生諸氏に本制度を大いに活用いただきたい。



講習会（山口地区）



認定式（三池機構長による認定書の授与）

## 平成22年度 財団法人山口大学教育研究後援財団 産学連携促進助成事業 コーディネート型研究会公募のご案内

コーディネート型研究会の公募を開始いたしましたので、ご案内申し上げます。  
山口大学の産学連携あるいは地域の活性化につながる提案をお待ちしております。

公募期間：平成22年10月12日（火）～12月28日（火） 17:00必着  
募集要領・応募申請書等詳細は、下記ホームページよりご覧下さい。

→ <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/index.php?mode=101012>

<お問い合わせ先／申請書提出先>

山口大学産学公連携・イノベーション推進機構  
イノベーション支援部門 担当：林  
TEL：0836-85-9961 FAX：0836-85-9962  
E-Mail：yuic@yamaguchi-u.ac.jp



## 山口大学客員教授特別講演会・先端技術セミナーのご案内

### ◆ 特別講演会「新薬（先発医薬品）vs.ジェネリック医薬品（後発医薬品）のメリット/デメリット」

日 時：平成22年11月5日（金） 18：00～19：30  
会 場：山口大学常盤キャンパス 先端研究棟3階 セミナー室  
講 師：奥山 茂 山口大学客員教授  
（大正製薬株式会社 上席理事 医薬研究本部・本部長）  
内 容：新薬と比較して、ジェネリック医薬品のメリットおよびデメリットについて講演します。

### ◆ 先端技術セミナー「地球温暖化と土砂災害…降雨量観測の視点から」

日 時：平成22年11月10日（水） 14：30～16：00  
会 場：山口大学常盤キャンパス D講義棟 D11講義室  
講 師：松田益義 山口大学客員教授（MTS雪氷研究所 代表取締役）  
内 容：降雨量と雨水地表衝突量がまったく異なる概念であり、後者の正確な量を知ることがいかに重要であるかを述べ、その量を観測する方法について考えます。

### ◆ 先端技術セミナー「カーボンマネジメント（排出権取引他）と現場におけるCO2算定の実態」

日 時：平成22年11月10日（水） 16：10～17：40  
会 場：山口大学常盤キャンパス D講義棟 D11講義室  
講 師：松田布佐子 山口大学客員教授（株式会社環境経済研究所 代表取締役）  
内 容：カーボンマネジメントの国内外の動向をはじめ、事業者の現場サイトにおけるCO2算定の方法、評価法などについて紹介し、今後の課題について討議します。

### ◆ 特別講演会「実社会の要請に対する技術コンサルタントの役割とその実際」

日 時：平成22年11月12日（金） 12：50～14：20  
会 場：山口大学常盤キャンパス E講義棟 E41講義室  
講 師：松田益義 山口大学客員教授（MTS雪氷研究所 代表取締役）  
内 容：一人の技術プロフェッショナルが、一つの技術領域（雪氷学）において、35年間、顧客からの過大な期待にどう向き合い、辛くも応えつつ多くの失敗と少ない成功を重ねながら如何にしのいで来たかを語ります。

### ◆ 特別講演会「低炭素化社会と事業者における環境経営」

日 時：平成22年11月12日（金） 14：30～16：00  
会 場：山口大学常盤キャンパス E講義棟 E41講義室  
講 師：松田布佐子 山口大学客員教授（株式会社環境経済研究所 代表取締役）  
内 容：環境マネジメントシステムを導入した事業者の成功事例、失敗事例を基に、今後の環境経営の効果的な進めかたについて考えます。

\*参加費は、無料です。

\*各講演会・セミナーの詳細は、当機構ホームページをご覧ください。

<お問い合わせ・お申し込み先>

山口大学産学公連携・イノベーション推進機構

TEL：0836-85-9961 FAX：0836-85-9962 E-Mail：yuic@yamaguchi-u.ac.jp

ホームページ：http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/

## やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議講演会のご案内

### ◆ 第2回 企業の開発と新展開を支援する活動

日時：平成22年11月12日（金） 13：00～17：00

会場：常盤工業会館 2階会議室

プログラム；

- 1 挨拶
- 2 基調講演
- 3 シーズ発表 \*シーズ発表は、各機関のコーディネータが行います。

講演会：無料  
情報交換会：2,000円

#### ■宇部工業高等専門学校

○バルク金属ガラス材料（研究者：機械工学科 教授 藤田和孝）

○二硼化チタン焼結体（研究者：機械工学科 教授 吉田政司）

○福祉・介護機器の開発

（1）超音波センサを利用した離床検知システム

（研究者：電気工学科 准教授 春山和夫）

（2）CMOSセンサを利用した監視装置

（研究者：電気工学科 助教 中島翔太）

（3）超音波モータを利用したロボットアーム

（研究者：機械工学科 教授 岡正人）

#### ■徳山工業高等専門学校

○マイクロバブル技術の利用シーズ

（1）マイクロバブルを用いた酒造り

（2）マイクロバブルの生物活性特性を利用した宍道湖シジミの稚貝の増産と成長促進

（研究者：土木建築工学科 工学博士 教授 大成博文）

○菌根菌を利用した植物栽培技術シーズ

（1）菌根菌を用いた特殊土壌への緑化の研究

（2）菌根菌による有効成分含有量の高い甘草・ムラサキの栽培方法の確立

（研究者：一般科目 学術博士 教授 天内和人）

○一本のプラスチックファイバを用いた簡易型送受光モジュールと、

それを用いた絶縁型スイッチや双方向通信への応用

（研究者：情報電子工学科 工学博士 准教授 原田徳彦）

#### ■大島商船高等専門学校

○船舶の空気抵抗の減少装置（研究者：商船学科 准教授 角田哲也）

○金属の表面傷の検出装置の開発（研究者：情報工学科 准教授 杉野直規）

○粉体の定量供給方法のお手伝い（研究者：電子機械工学科 講師 尾形公一郎）

○太陽発電機の冷却装置（研究者：電子機械工学科 准教授 藤井雅之）

○潮流発電の研究会の計画

（研究者：商船学科 准教授 清水聖治，講師 北風裕教）

詳細→ <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/cay/>

<お申込み・お問い合わせ先>

山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

TEL：0836-85-9961 FAX：0836-85-9962 E-Mail：cay@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

Innovation Center, Yamaguchi University

連絡先：〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1

発行：山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構 TEL：0836-85-9961 FAX：0836-85-9962

E-mail：yuic@yamaguchi-u.ac.jp ホームページ：<http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>